

神聖な三一と共に生きる (2)

わたしたちの内で活動する神

聖書：ピリピ 2:13. 1:19-21 前半. 使徒 16:7. ローマ 8:9

I. 「あなたがたの内で活動する神」——ピリピ 2:13 前半：

- A. 神は地上で行動しており、ご自身の活動によって行動します—— I コリント 12:6, 11. II コリント 1:6, 4:12. エペソ 1:19, 3:7, 20, 4:16. ピリピ 3:21. コロサイ 1:29, 2:12. I テサロニケ 2:13。
- B. ピリピ第 2 章 12 節から 13 節は啓示していますが、ピリピ人への手紙の全体的な、すべてを網羅する、包括的な思想とは、神がわたしたちの内で活動しているということです：
1. キリストがわたしたちにとって何であるかはすべて、神の活動のためです——ピリピ 2:5-11, 3:8-10。
  2. わたしたちの神は、わたしたちの内で絶えず生きており、行動しており、活動しています。わたしたちは、神がわたしたちの内で活動することを顧慮すべきです——ピリピ 2:13。
  3. わたしたちが霊的な識別力と霊的な理解力を持っているなら、ピリピ人への手紙にあるすべてのものは、神がわたしたちの内で活動することと関係があることを見ることができます——ピリピ 1:19, 2:5-11, 3:10, 12, 21, 4:5-7, 19, 23。
- C. ピリピ人への手紙において取り扱われているあらゆるものは、神の活動する行動の下にあります：
1. 第 1 章がわたしたちに示しているのは、わたしたちがキリストを生き、キリストを大きく表現して、キリストにわたしたちの生活と表現になっていただく必要があるということです——ピリピ 1:20-21。
  2. 第 2 章が示しているのは、わたしたちがキリストを模範とし、キリストを提供する必要があるということです——ピリピ 2:5-11, 16。
  3. 第 3 章が示しているのは、わたしたちがキリストをわたしたちの目標として追い求め、獲得する必要があるということです——ピリピ 3:14。
  4. 第 4 章が示しているのは、キリストがわたしたちの秘訣であるということです——ピリピ 4:12-13。
- D. 神はわたしたちの内で活動して、「神の大いなる喜びのために、願わせ働かせ」ています——ピリピ 2:13 後半：
1. わたしたちの内で活動する神は、三一の神、すなわち、父、子、霊です——マタイ 28:19. II コリント 13:14。
  2. 願わせることは内側のことであり、働かせることは外側のことです——ピリピ 2:13：
    - a. 願わせることは、わたしたちの意志の中で起こります。これは、神の活動がわたしたちの霊から始まり、思い、感情、意志の中へと拡大することを示します。——ローマ 8:4, 6。

b. ピリピ第2章13節の「働かせる」（あるいは「活動させる」）のギリシャ語は、この節の「活動する」という言葉と同じです。

3. ピリピ第2章13節の「神の大いなる喜び」、すなわち、神のみこころの大いなる喜びは、わたしたちが神の究極の救いの頂点に達することです——エペソ 1:5. ピリピ 1:19, 2:12。

E. わたしたちは、神がわたしたちの内でも活動することが、奇跡的で正常なことであることを見る必要があります。この事は完全に正常なことですが、完全に奇跡的なことでもあります——ピリピ 2:13, 4:6-7 :

1. 神はわたしたちの内側で、奇跡的に、しかし正常で静かに活動しています——7節。

2. 神がわたしたちの内でも活動することは、外側の人の目を引くようなものではありません。しかし、この事は霊的な意味において、偉大な事柄です——エペソ 1:19, 3:17。

**II. 神がわたしたちの内でも活動することには、「イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給」があります——ピリピ 1:19 :**

A. 「イエスの霊」は、神の霊に関する特別な表現であり、肉体と成った救い主の霊を指しています。彼は、人性におけるイエスとして、人の生活と十字架の死を経過しました——使徒 16:7. ルカ 1:31, 35. マタイ 1:21 :

1. イエスの霊には、神の神聖な要素があるだけでなく、イエスの人の要素と彼の人の生活の要素と彼の死の苦難の要素もあります——ピリピ 2:5-8。

2. イエスの霊は、わたしたちが神聖な命を生きるための、神性を伴う神の霊であるだけでなく、わたしたちが正常な人の生活をしてその苦難に耐えるための、イエスの中にある、人性を伴う人なるイエスの霊でもあります——ピリピ 2:15。

3. パウロは彼の苦難の中で、イエスの霊を必要としました。なぜなら、イエスの霊には、苦難の要素と、迫害を耐え忍ぶための力があるからです——コロサイ 1:24. 使徒 9:15-16. 16:7。

B. 「キリストの霊」は、復活におけるキリストの霊を指しています——ローマ 8:9 :

1. 肉体と成ること、十字架、復活の過程を通して、神の霊はキリストの霊となっています——ローマ 8:9。

2. キリストの霊は、実はキリストご自身であって、わたしたちの霊の中に住み、手順を経た三一の神の具体化であるご自身を、復活の命また復活の力としてわたしたちの中へと分け与えて、わたしたちの性質の中の死を対処します——ローマ 8:2, 9。

3. わたしたちはキリストの霊によって、キリストの復活の命の力にあずかり、キリストの昇天の超越性において、また彼が御座に着いたことの權威において、彼と一体化されることができません——ピリピ 3:10. エペソ 1:20-21. 2:6. ヨハネ 11:25. 使徒 2:22-24, 31-36。

C. 「イエス・キリストの霊」は、苦難を受けるイエスの霊と復活したキリストの霊を指しています——ピリピ 1:19 :

1. イエスの霊は主の苦難を特に指しており、キリストの霊は彼の復活を特に指して

いるので、イエス・キリストの霊は、彼の苦難と彼の復活の両方と関係があります。イエス・キリストの霊は、地上で苦難の生活をしたイエスの霊でもあり、今や復活の中にいるキリストの霊でもあります——使徒 16:7. ローマ 8:9. ペリピ 1:19。

2. イエス・キリストの霊は、ヨハネ第7章 39 節において述べられている「その霊」となっている神の霊です。すなわち、キリストの肉体と成ること、十字架、復活を経過したイエス・キリストの霊であり、神聖な要素も人の要素も持つ、またキリストの肉体と成ること、十字架、復活のすべての本質と実際を持つ霊です。
- D. 「満ちあふれる供給」は、使徒によって用いられた特別な豊かな言葉であって、イエス・キリストの霊の満ちあふれる豊かな供給を示しています——ペリピ 1:19 :
1. わたしたちは、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給には以下のものが含まれていることを見る必要があります。それは、神性（神聖な命と性質を伴う神聖なパーソン）、引き上げられた人性（正常な命と生活と性質とパーソンを伴う人性）、十字架上で主のすばらしいすべてを含む死、キリストの復活と昇天です——ヨハネ 1:1, 14, 29. ガラテヤ 2:20. ルカ 24:5-6, 50-51。
  2. わたしたちはパウロのように、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給によって、キリストを生き、キリストを大きく表現することができます——ペリピ 1:19-21 前半 :
    - a. イエス・キリストのすべてを含む霊のこの満ちあふれる供給は、わたしたちがイエス・キリストを生きることによって彼を大きく表現するためです。わたしたちは彼を生き、そうして彼はどのような境遇においても大きく表現されるようになります——ペリピ 1:20-21. 4:11-13。
    - b. イエス・キリストの霊には、すべてを含む満ちあふれる供給があります。わたしたちはこの供給によって、どのような種類の環境にも適応することができ、こうしてキリストを経験し、享受し、生き、大きく表現することができます——ペリピ 1:19-21 前半. 4:11。